

令和2年度 事業報告

令和2年度においては、引き続き膜構造及び膜材料の一層の普及・発展に向け、膜構造の品質確保のための各種の講習会事業、見学会等を会員の協力を得て円滑に実施するとともに、今後の協会及び会員の活動に資するため、近年の膜構造等の普及における課題や社会経済情勢等を踏まえた調査研究活動を実施した。

また、国土交通大臣から指定を受けて実施している行政代行業として、建築材料品質性能評価事業及び型式適合認定事業を適切に実施した。

1 品質及び技術水準の確保向上（技術向上事業）について

- (1) 膜構造用フィルムの活用を図るとともに、膜構造の健全な普及発展を図るため、（一財）日本建築センターとともに改訂を行った膜構造に関する解説書について、同財団と共催により説明会を開催した。また、説明会の内容を活用した WEB 講習についての周知を図った。
- (2) 膜体加工工場登録制度について、コロナ感染症拡大防止のため、工場審査を行うことが困難な状況を考慮し、登録の有効期限の延長を行うなどの措置をとった。（延長を行った工場；7工場）。
（現在登録工場数 すべての膜材料加工・7工場、A種を除く膜材料加工・12工場。協会ホームページに掲載。）
- (3) 「膜施工管理技術者講習」を、11月17日及び18日に実施し、S種11名、M種6名が受講し、講習後の考査を経てS種11名、M種6名を登録した。
（現在登録者数 S種69名、M種18名、計87名。協会ホームページに掲載。）
- (4) 「定期点検者講習」を8月27日に実施し、30名が受講した。講習後の考査を経て30名を登録した。（現在登録者数 130名。協会ホームページに掲載。）
- (5) 膜構造用フィルムの普及に向け、関係規程の改訂・整備の検討を行った。

2 技術発展のための調査研究の推進（調査研究事業）について

- (1) 「膜構造建築物における風荷重及び風力係数算定マニュアル」について、検討成果の公開に向けた準備を行った。
- (2) 膜種別毎の膜材料等の出荷実績、用途別・膜種別毎の膜構造建築物及び膜天井の事業実績のアンケート調査を実施し、毎年度の膜構造の事業実績に関するフローデータを整備した。
- (3) 「膜構造研究論文集2020」について、研究論文の募集を行い審査及び編集作業を行うとともに、一層の充実に向けた検討を行い、令和3年度より「膜構造ジャーナル」と改め、より広く情報発信を行っていくこととした。
- (4) 膜構造の台風被害についての分析を踏まえた必要な措置の検討を行うこととした。

3 普及情報事業の推進（技術情報事業）について

- (1) 協会ホームページにおいて、膜構造に関する基礎的な情報、知見の提供を行うとと

もに、協会事業等に関する最新の情報発信を行った。

- (2) 一般社団法人 日本建築事務所協会連合会とともに、設計者、自治体等担当者向けの施設見学会を、10月13日に東京都・横浜市において実施し、膜構造用フィルムの活用例の周知を図った。

見学施設：高輪ゲートウェイ駅、豊洲ランニングスタジアム、羽田空港第二ターミナル（以上東京都）及び日産パビリオン（横浜市）

4 性能評価事業等（行政代行業ほか）について

- (1) 指定性能評価機関として、2件の膜材料に係る評価を行い、うち2件について国土交通大臣への認定申請を行った。
- (2) 膜構造に係る型式適合認定に係る指定認定機関としての業務については、2件を受け付け、審査を行った（認定に至った案件はなし）。
- (3) 膜構造建築物に係る技術審査は案件がなかった。

5 会議の開催状況

(1) 総会

令和2年度通常総会を6月17日に開催し、令和元年度事業報告及び決算を承認し、令和2年度事業計画及び収支予算の報告を行った。

(2) 理事会

① 第1回通常理事会（5月25日）

令和元年度事業報告及び決算、通常総会の開催及び議案に関する件についての審議を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面による審議とした。

② 第2回臨時理事会（6月17日）

通常総会において役員任期満了に伴う改選が行われたことを踏まえ、総会終了後直ちに臨時理事会を開催し、会長（代表理事）、副会長及び専務理事の選定を行った。

③ 第3回臨時理事会（12月8日）

性能評価機関としての国土交通大臣の指定更新の申請を行う件、監視委員会の設置に係る件の審議を行った。

令和2年度上半期の事業実施状況及び理事職務執行状況の報告を行うとともに、品質・技術研究委員会について委員を見直した上で開催したことの報告を行った。

④ 第4回通常理事会（令和3年3月29日）

令和3年度事業計画及び令和3年度予算の承認、令和3年度通常総会の開催について審議を行うとともに、事業実施状況の報告などを行った。

(3) 企画運営委員会

委員会を3回開催（うち1回は書面審議）し、理事会への付託案件、協会の運営、事業活動における課題等についての討議を行った。

(4) 品質・技術研究委員会

委員の構成を見直したうえで委員会を1回開催し、技術基準の整備、改訂、調査研究の推進などについて討議を行った。

(5) 普及情報委員会

委員会を2回開催し、膜構造普及のための講習会の実施、会員向けの施設見学会の実施などに関する討議を行った。

(6) 維持保全専門委員会

委員会を3回開催し、定期点検報告書17件の審査を行った。

(7) 工場登録専門委員会

コロナ感染症拡大の影響から工場審査を行うことが困難なため、委員会の開催及び工場審査は見合わせた。

(8) 性能評価委員会

建築材料品質性能評価委員会を1回開催し、膜材料2件についての性能評価を行った。

(9) 型式適合認定委員会

委員会を2回開催し、2件についての審査を行った。

(10) 性能評価業務及び型式適合認定業務に係る監視委員会

新たに監視委員会を設置して委員会を1回開催し、公正な業務実施を図るための審議を行った。

(11) 膜構造技術審査委員会

本年度は審査に至った案件はなかった。(再掲)

6 会員の動向

	令和2年度末	令和元年度末
第1種正会員	19社	20社
第2種正会員	17社	17社
第3種正会員	89名	95名
第4種正会員	6社	6社
賛助会員	1社	1社
合計	132会員	139会員